

世田谷ケアマネジャー連絡会役員会議事録

日 時 平成 29 年 2 月 9 日 (木) 19 : 00 ~ 21 : 00

開催場所 世田谷区社会福祉事業団 3 階会議室

出席者 相川 丸山 渡部 斎藤 一宮 川上 浜畑 築添
森川 佐藤 泉
介護保険課鈴木 (敬称略、順不同)

1 次年度の役員について (協力員含む)

研修委員の協力員三名と主任制度推進委員の協力員には二名が次年度より役員へ昇格。(ウェリナ世田谷の安藤正子様、久我山病院佐藤憲行様)

2 3月の全体研修について

実施予定となっている。

3 次年度総会日時・講師について

日時 : 4 月 14 日 19 : 00 ~ 21 : 00

(19 : 00 ~ 19 : 30 総会 19 : 30 ~ 21 : 00 基調講演の予定)

場所 : 梅が丘パークホール

講師 : 國光登志子先生 (講義頂ける内容 : 包括ケアのこと?)

議長 : タカラ薬局渡辺様

会計監査 : 代沢包括支援センター北澤様

4 その他

①2月18日土曜日 中目黒 西南部リハビリテーション研究大会 中目黒GTプラザホールにおいてある。相川氏等参加予定。

②1月23日、31日 19時よりブライトホールに於いて「介護予防・日常生活支援総合事業 区と事業者との意見交換会の開催について」に川上氏が参加。

(1)世田谷区で実施している総合事業の良い点や悪い点について

- ・通所型サービスAは、送迎などのネックが大きく発展しない。
- ・通所型サービスA 看護師がいない。(10人以下の場合には看護師不要。10人以上の場合には要看護師であり、この位置づけが不明)
- ・サービスBは(住民主体による支援)は地域による格差はあるが、発展している。
- ・利用者が総合事業を把握しきない。

③2月7日 平成28年度 世田谷区福祉人材育成・研修センター研修運営検討会後期に佐藤氏が参加。

高齢者と障がい者がわけ隔てなく支える仕組みとして2018年度に創設する「共生型サービス」について鈴木氏より説明あり。

5 各委員会報告

【施設委員会】

1月15日 今年度、来年度の話し合い

【主任・制度推進委員会】

主任ケアマネジャーのスキルアップを3会場で開催する。

*1月20日(13名集客)

*2月8日(講師インフルエンザのため急遽中止。参加者は28名の予定。内6名は砧開催の研修へ移行する。開催日はリスケジュールをし、3月に開催予定。場所は世田谷区社会福祉事業団の予定)

*2月17日(36名 砧会場開催予定)

【研修委員会】

今年度、全て研修は終了。リアセスはこれまで全計5回実施している。

今年度は、相川会長が講師として登壇した。リアセスメントシートを活用してニーズを引き出し、ケアプランへの落とし込みをした。

【広報委員会】

世田谷ケアマネジャー連絡会ニュース発行近日。

協力員として用賀あんしんすこやかセンターの花尾様が手をあげている。

6 会費値上げについて

①現状

繰越金が17784円。今年度より研修の費用として、資料代200円(紙代+コピー代)一律として研修受講者より徴収した。結果、会計はマイナス。繰越金が、年度を追って減少。

②繰越金マイナスの一要因

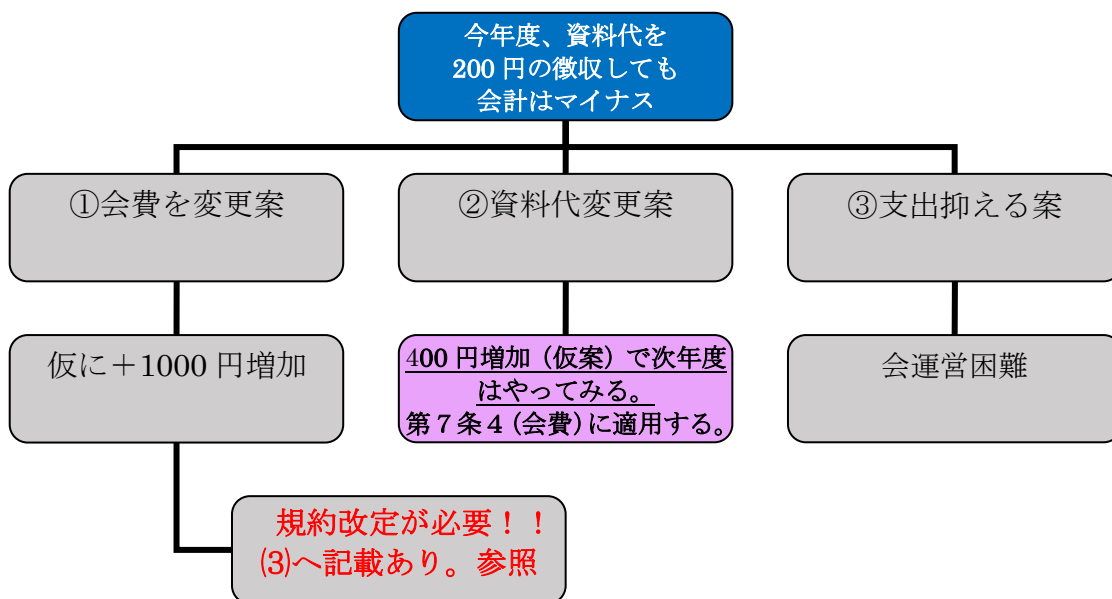
ケアマネジャーの会が発足した当初は、手前弁当の研修開催であった。しかし、職能団体としてあるべく有能な講師を招く機会が増えた。その結果、講師への費用及び会場費等の負担が増え、繰越金の減少につながってきているのではないかと考えられる。

但し、研修内容は、常に会員の声に応える研修体系をアンケート等からとっている。

③会員への提案

(1)会員へ現在の会計報告を可視化し、今後、会費等をどうしていくか、会員と検討して対応することが好ましい。

(2)今後どのようにしていくのか、下記、構成図を基に会員へ4月総会時に役員が説明する。



(3)仮に会費をあげる場合、次年度の総会ですぐに対応することは困難。段階を得る。

第一段階の検討：会員への現状の報告。

第二段階の検討：運営規定第 24 条（規定の変更）の検討。

第三段階の検討：第 7 条（会費）の検討。

7 介護保険課 事業所支援担当鈴木様より

ケアプラン点検→梶原様、丸山氏、相川氏が区の委託により実施していく。

ケアマネジャーの会ニュース→区の活動にケアマネジャーの会役員が参加していることを掲載するなどしても良いのではないか。（高齢介護部会に出席している等々）

次回役員会日程：3月9日（木）19時～ 於：（世田谷区社会福祉事業団 3階）